



平成 28 年度 オリンピック・パラリンピック教育事業
推進校実施報告書

- 1 学校名 : 岩手県二戸市立福岡小学校
- 2 実施日時 : 2017 (平成 29) 年 2 月 21 日 (火)
- 3 対象 : 講演 5・6 年生 100 名
実技 6 年生 50 名
- 4 派遣オリンピック : 山本隆弘さん (バレーボール 北京オリンピック日本代表)
- 5 授業内容 : 講演・実技

2017 (平成 29) 年 2 月 21 日に岩手県二戸市立福岡小学校にて、北京オリンピック (2008 年) バレーボール日本代表の山本隆弘さんをお招きし、5・6 年生児童約 100 名の生徒を対象に「夢・目標に向かって～挑戦することの大切さ～」をテーマにしたご講演と、6 年生児童約 50 名を対象に実技指導を行っていただきました。

山本さんは、幼少期に体が弱かったことから両親にスポーツをすることを勧められ、小学校から中学校にかけて野球、サッカー、陸上競技と様々なスポーツを経験したそうです。しかし、どれもうまくいかずに辞めてしまう中、友人から誘われて中学 3 年生から入ったバレーボール部では、人数も少なく決して強いチームではなかったものの、6 人で 1 つのボールを追いかける楽しさにのめり込んでいったと、バレーボールとの出会いを振り返ってお話しされました。その後、バレーボールの強豪高校に進学し、3 年間連続全国大会に出場するなど、輝かしい競技生活を送る中で、オリンピック出場を目標に、バレーボール選手としての道を歩む決意を固めたと言います。しかし、大学時代には競技を辞めてトラック運転手として働いていた時期があるほか、復帰後日本代表に選ばれた後にも肩の故障で選手生命が危ぶまれたこともあったなど、数度の挫折を経験されたそうです。しかし、“志あるところに道ありき”というご自身の座右の銘の下、後悔するよりは自分の信じた道を貫こうとの思いから、日本人初となるプロ選手となり、必死の努力で北京オリンピック出場の夢を掴むに至ったと、挫折を乗り越え夢を叶えるまでの道のりをお話しされました。

こうしたお話しを踏まえ、山本さんは児童に対して、毎日どんなに小さなものでもいいから目標を持ち、そして目標を達成したときの嬉しさをたくさん感じてほしいとの願いを話されました。また、自分がたてた夢や目標は、周りに宣言することで必ず親や先生が応援し、協力してくれること、そして決して諦めずに最後までやりきることできると夢は叶うことなど、児童に対して、夢や目標、希望をもつことや、努力の大切さについて力強く伝えられました。

6 授業の様子



「夢・目標に向かって～挑戦することの大切さ～」をテーマにご講演された山本隆弘さん



8名の代表児童からの質問にもそれぞれ丁寧に、また力強いメッセージを添えて答えられました。



実技では、スパイクなどのデモンストレーションを見せていただいたほか、パス（アンダー・オーバー）の基本などの練習、練習したパスを使ったゲームなどを児童と一緒にやり、大変盛り上がりました。



講演後、5・6年生との集合写真



実技後、6年生との集合写真